

那珂市議会 総務生活常任委員会記録

開催日時 令和6年10月2日(水) 午前10時
開催場所 那珂市議会全員協議会室
出席委員 委員長 小池 正夫 副委員長 君嶋 寿男
委員 桑澤 直亨 委員 木野 広宣
委員 渡邊 勝巳
欠席委員 委員 萩谷 俊行
職務のため出席した者の職氏名
議長 木野 広宣 事務局長 会沢 義範
次長 秋山雄一郎 次長補佐 岡本奈織美

会議事件

(1) 調査事項について

…今後の調査事項について協議

(2) 議員と語ろう会について

…次回の議員と語ろう会について協議

議事の経過(出席者の発言内容は以下のとおり)

開会(午前10時00分)

委員長 おはようございます。

お忙しい中、総務生活常任委員会、ご参集賜りまして誠にありがとうございます。

すっかり秋めいてきたと思いますと、まだ気温も高くですね、熱中症の恐れもありますので、またコロナも蒸し返してまた流行もしているようですので、どうか皆様気をつけて、生活のほうなさっていただきたいと思います。

開会前にご連絡いたします。

本日は換気のため廊下側のドアを開放して常任委員会を行います。ご理解、ご協力のほどよろしく願いいたします。

会議は公開しており、傍聴可能とします。

また、会議の映像を庁舎内のテレビに放送します。会議内での発言はマイクを必ず使用し、質疑、答弁の際は、簡潔かつ明瞭をお願いいたします。

携帯電話をお持ちの方は、電源をお切りいただくか、マナーモードにするなどご配慮お願い申し上げます。

ただいまの出席委員は5名でございます。欠席委員は萩谷委員です。

定足数に達しておりますので、これより総務生活常任委員会を開会いたします。

職務のため、議長及び議会事務局職員が出席しております。

ここで、議長よりご挨拶をお願いいたします。

議長 改めましておはようございます。

閉会中の中、総務生活常任委員会を開催頂きありがとうございます。

本日案件2件ございますので、委員の皆様におかれましては、慎重なる審議をお願い申し上げます。

どうぞよろしくお願いいたします。

委員長 ありがとうございます。

本委員会の会議事件は別紙次第のとおりであります。

これより議事に入ります。

(1) 調査事項についてを議題といたします。

9月19日の全員協議会で、公共施設の在り方調査特別委員会の設置についての議題の中で、今後、総務生活常任委員会で調査をしていくということになり、その内容について協議をしていきたいと思っております。

委員の皆様のご意見を伺いたいと思っております。

よろしくお願いいたします。

渡邊委員 前回の全員協議会の中で、公共施設のマネジメントのお話がありました。

これについて調査をしていくという形で、委員長から話があったかと思っております。

これについてどのように調査をしていくかという形でよろしいかと思うんですが、まずマネジメント計画自体が、まず議員各位の皆様方が理解していない、調べてない部分もあるように感じますので、一度担当課のほうから説明を頂きまして、また市内にどのような施設がどのような状況になってるのかというのを、やはり現地を1回確認して、まずそこから始めるべきなのかなというふうに思います。

以上です。

委員長 はい、ありがとうございます。

ほかにごございますか。

桑澤委員 先ほど、渡邊委員からもありましたとおり、今後長寿命化していくものなのか、あるいは取り壊していくべきなのかっていう色分けというか、ABCで分けるなりしてですね、しっかりと基準をつくって、委員会としての調査をすべきじゃないかなと思いますので、よろしくお願いいたします。

木野委員 前回委員長がこの総務生活常任委員会でやっていくということを明言されましたので、委員会としてやっぱりしっかりとこの調査事項をしていきたいと思っております。

また現在の状況などについても、逆に伺いたいなっている部分ありますので、その辺を踏まえた上で、ちょっと執行部のほうからも、話を聞きたいと思っております。また、先ほど渡邊委員からもございましたけどもやっぱり現在の状況の中での現地視察という部分もすごく大事になってくると思いますので、その辺を検討していただければと思いますので、よろしくお願いいたします。

以上です。

委員長 ありがとうございます。ほかに。

副委員長 那珂市内数多くの公共施設があるかと思えますけれども、その公共施設についての維持管理にどのような経費がかかっているか。その辺の出していただいて年間いくらかの管理費がかかっているかというのも、執行部から担当課からいろいろ意見を頂ければと思います。

それによっていろいろ今後の公共施設をどのように維持管理していくかそれについての修繕なり、また方向性を決めていく一つの課題になるかと思えますのでそこを入れていただければと思います。

以上です。

委員長 はい、ありがとうございます。

この間の全員協議会で、総務生活常任委員会のほうでちゃんとその調査していくということを私も明言いたしました手前、納得していただけるような、調査をしていきまして、桑澤委員も先ほど言いましたとおり、長寿命化にはどのぐらいの、今までかけてきた経費もあると思えますので、それも含めて、副委員長もおっしゃったとおりですね、どういうふうこれからしていくのか。

公共施設といいましてもどれが公共施設で幾つあるのか分からないという議員もたくさん、渡邊委員がおっしゃったように、分からない方もたくさんいらっしゃると思います。

ですから私らも認識不足のところもあるかと思えますので、やはり先ほど木野委員もおっしゃったように、視察をしてですね、何回かに分けて、それでよく調査をしながら、現地の現認をしてですね、調査をしていければと思います。

ほかにございますか。

渡邊委員 はい、すいません。公共施設のマネジメント計画が今年度いっぱい第1期目が終わりました来年度また第2期目に入っていくという話になっています。その中でどの程度まで調査を入れてもらうのかという話があると思うんですけども、前回の全員協議会の中で、花島議員のほうから、建物自体の寿命、あとはどのぐらい使うのかが分からないだろうという話もありましたので、ぜひ次の計画をつくるときには、そのようなところまで含めた調査をお願いできればなと思います。

いろんなその物理的な調査という話も前回の全員協議会でさせてもらいましたので、その辺の予算をとるのが必要になるかと思うんですけども、その辺も含めて執行部にお願ひできれば、我々の調査のほうにも有効に活用できるのかなと思えますので、こういうことを検討してもいいのかなと思っております。

木野委員 今渡邊委員からもありましたけども、視察先っていうのは、那珂市内に限るということですから、やっぱりその辺は結構行きやすい場所になると思えますので、それは委

員長、副委員長のほうで場所を決めていただいて進めていただけたと思いますのでよろしくお願いいたします。

委員長 はい、分かりました。

場所については責任持って副委員長と一緒に場所のほうを選任していきたいと思しますので、よろしくお願ひ申し上げます。

この調査をするに当たりまして現場を一応見るということで、なるべくなら12月議会前11月中にできればと思っておりますが、委員の皆様のご意見等はいかがでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ声あり)

委員長 よろしいでしょうか。

それでは11月中に、視察をできるというような形にしていきたいと思ひます。

副委員長 来月11月から調査をするということでそれはよろしいかと思ひます。できれば常任委員会を毎月、この調査については会議を開いていただければと私は思ひますのでよろしくお願ひいたします。

委員長 はい、それは賛同いたします。非常に結構なことだと思ひます。

やはり毎月調査をして皆さんで話し合いをしながら、委員会で進めていくということは非常に大切なことだと思ひますので、そのようにしていきたいと思ひます。

よろしくお願ひいたします。

ほかにございますか。

(なし)

委員長 それではですね、決定した調査事項のテーマについてはまず市の現状を執行部に伺っていきたくと思ひます。

先ほど言いましたとおり、視察は11月に実施すると。日程等の詳細が決まりましたらば、ラインワークス等でお知らせをいたしますので、よろしくお願ひ申し上げます。

続きまして(2)として、議員と語ろう会についてを議題といたします。

今年度2回目の議員と語ろう会についてですが、移住者との懇談会を予定していますが、今後移住者等のミーティングの実施がないということですので、今後の対応について、知り合いに声をかけて実施するか、新たに団体等に声をかけて実施していくかどうか、委員の皆様のご意見等々をちょっとお伺ひしたいと思ひます。

よろしくどうぞお願ひいたします。

渡邊委員 移住者の方々の集まりがなかなかないんだよという話でしたので、そうすると次に那珂市の時代を背負ってもらえる方っていうのは、やっぱり、高校生なのかなというふうに感じます。

もしできれば市内にも高校二つありますので、そちらの生徒の方のお話が聞ければと思ひます。

私のほうから提案させていただければと思ひます。

委員長 はい、分かりました。

確かに次世代をね、担っていく若い方のお話を聞くのは非常に大事なことだと思います。

ほかにございますでしょうか。

桑澤委員 補足というか、渡邊委員のおっしゃったとおり移住者のミーティングは今後ちょっと予定されてないということで、そこで本当は、出来れば1番効率がよかったと思いますがそれが出来ない以上、難しい今回今の時点ではちょっと難しいのかなと思いますので、おっしゃるとおり高校生のご意見を伺うのも、中学生あたりはね教育厚生常任委員会でも、いろいろお話伺ったりしてる部分もあるかと思いますが、我々はもう少しちょっと上の、高校生とか、大学生もいいですけどもそういったところの若い方に焦点を当ててお話を伺うといいのかなと思いますので私も賛成です。

委員長 はい、ありがとうございます。

木野委員 確かにやっぱり高校生との語ろう会という部分は、昔はやっぱり広報委員会で一度那珂高校で取材をしたことがあるんですね。

そういったのも含めてやっぱり結構素直な意見が、そのときも聞きましたので、やっぱり若い人たちの意見って、全然自分たちが想像してる以上に、本当にストレートに、入ってきますので、そのどういうふうを考えてるかっていう部分を聞いていきたいと思う。また、この間の青少年の主張大会ということで、水戸農業高校と那珂高校の生徒がやっぱり主張されてたんですけども、やっぱり自分たちが考えてる以上に、すごい意見を主張されてましたので、やっぱりそういった意見を、今回は各高校1名ずつだったので、逆に少し、人数が多い中で、やっぱりいろんな意見を聞いていければいいなって私も思いますので、ぜひこの方向で進めていただければと思います。

以上です。

委員長 はい、ありがとうございます。

移住者の意見を聞くというところでその話合いがないということなんですけれども、木崎地区も特区で移住なさった方が何件かございまして、もしアポイントもとれてですね、取材に応じていただけるということになれば、こっちから出向いてですね、いろんなお話をちょっと聞いてもいいのかなあとということもございます。

木崎地区ばかりではないと思うんですけども、中台でも後台でも、菅谷でも移住なさった方がどなたかいらっちゃって、それはそれをご紹介頂いてそこでお話がもし聞けるのであれば、それもまた参考にしてやっていきたいなと思っております。

いかがでしょうか。

副委員長 今委員長言ったように那珂市内移住者、地元にいるということですし、ほかにもいるということで、やはり今回ミーティングの実施がないということですけども、那珂市内にどれだけの移住者がいるかっていうのをきちんと情報をとって、その調査をしながら

ら、今後、議会から委員会から声をかけさせていただいて、その方たちとのお話し合いをする場も機会を設けてもいいかなと思いますので、そういうことも調査の中に入れていただければと思います。

委員長 はい、ありがとうございます。

ほかにございますでしょうか。

何でも結構です。

木野委員 せっかく移住の方もいらっしゃるということで、その高校生のほうと移住の方の二つをテーマとしていただければ、委員会としてはいいのかなと思いますのでよろしくお願いたします。

委員長 これについての日程等々なんですけれども、事務局としても考えはあると思うんですけれど大体いつ頃を予定しておりますでしょうか。

次長補佐 移住者のほうなんですけれども、これからちょっと声をかけるということで、年内の語ろう会はちょっと難しいかなと思いますので年明けの実施で考えていければと思います。

高校生のほうにつきましてはちょっとこれからアポイントとりながら進めていければと思います。

以上です。

委員長 それで皆さんいかがでしょうか。

よろしいでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ声あり)

委員長 市内は二校高校がございまして、那珂高校と水戸農業高校とありますので、できれば両方の高校のね、通ってる勉強の内容も違うというところ、また、いろんなところから那珂市に通ってきてる部分のところで、いろんな意見が聞けるとと思いますので、非常に中身の濃い調査にしていきたいと思っております。

よろしくお願いたします。

それではせっかく高校生と意見交換する場合にですね、そのテーマをちょっとどういうテーマがいいのかちょっとこの場で皆さんのご意見等あればお伺いしたいと思います。

桑澤委員 せっかく若い方から意見を聞くので、これからどういう那珂市を望んでいるのかとか、これから育つ、これから住んでいくために、那珂市のことをもう少し魅力あふれる街になってもらえるような、意見をちょっと伺いたいなと思っております。

渡邊委員 私も桑澤委員と同じなんですけども、やはりこれから、未来を背負って立ていただく方なので、那珂市に何を望む言い方がちょっとおかしいかしらんですけども、那珂市に何が今足りないのか、那珂市にこういうものがあつたらいいんじゃないのかなとか、そういうところを、若い方々の目線で見えていただいたものを聞きたいなと私は思います。

木野委員 確かに若い方の那珂市に対する思いという部分も結構あると思うんですね。そうい

ったものを逆に中心にさせていただいて、前に一度那珂高校に選挙のことで伺ったことあるんですけどもそれはやっぱりちょっと、一応議員が行くとやっぱいろいろ問題があるということがあったもんですから、それを除いた部分で流れを考えて、今渡邊委員と桑澤委員がおっしゃったような方向で進めていただければと思います。

よろしくをお願いします。

副委員長 今ですね話があったように那珂高校と水農の高校生との中でやはり、今那珂市に何がほしいとか、何を必要とするとかかそういうことを望んでることをちょっと話聞きたいなと思いますね。

先ほど木野委員からお話があったように、当時は18歳が選挙権をもらえるようになったということでの話し合いだったんで、今回は、那珂市に望むことということでの、テーマを広げてやっていただければと思います。

以上です。

委員長 ありがとうございます。

高校生は高校生でいろんな意見等々持っていると思います。私たちの年代ではちょっと考えられないようなねいろんな斬新な考えとかもあろうと思いますので、あとは高校生から見て我々大人がどんなふうに見えてるのか、そういうところも非常に興味があるところでございます。

ですので非常になるべく、両方の高校ですら、意見交換ができるような、そういうのを急いでちょっと、予定を立てていきたいと思っております。

よろしくお願い申し上げます。

ほかにございますか。

事務局のほうで、ほかにありますか。

これに入っていないその他もあるんですけどもその他で何か別なご意見等でもあれば頂きたいと思えます。

別に特化したことではなくですね。

木野委員 すいません、視察なんですけれども、一応予定としては、1月ぐらいついていうふうに考えていいんでしょうか。

次長補佐 視察なんですけれどもちょっと1月中であたってるんですけども、受入れのほうで難しいというお断りの連絡がありましてまた今後調整していきたいと思えます。

申し訳ありません、よろしくお願ひいたします。

委員長 はい、分かりました。

なかなか1月中は忙しいんですかね。

副委員長 行事がね。

委員長 よろしくお願ひいたします。

ほかにございますか。

(なし)

委員長 ないようでしたら、本日の議題は全部終了いたしました。

以上で総務生活常任委員会を閉会いたします。

お疲れさまでした。

閉会（午前10時22分）

令和6年10月21日

那珂市議会 総務生活常任委員会委員長 小池 正夫